

梅の木の剪定

山里には果樹なる木が、「梅」5本「柿」7本「蜜柑」4本「栗」2本の4種類18本あります。まったく肥料もせずに毎年果実をもたらせてくれますが、剪定だけは素人方法で欠かさず1月から3月にかけて行なっています。正月明けから「梅」と「柿」を行ないました。今回は「梅」の剪定報告です。



裏山にある梅ですが、一年でこのように伸びています。品種は不明ですが小粒です

我流による剪定した後です。芽には「花芽」「葉芽」がありこれを間違えないようしています



長い枝で1m程伸びています。剪定は木の内側と上に伸びる枝を遠くから眺め、切る枝を決めます

「花芽」は枝元から4-5芽残して切ります。今年は思い切って内側に向かう枝を大幅に切りました



これも大幅に切った梅の木。収穫する時に手の届く高さまで揃えます

山の斜面の為、梯子や脚立を使えませんので木に登りながらの剪定になります



例年切り落とした枝や幹はそのまま木の周りに切り刻んで放置していました。(肥料になっていた)

今年から剪定した幹や枝を回収し一年間乾燥させるつもりです。ストーブの焚きつけに最適と分かり新たな発見です。



ネットで「剪定」を調べると出てくる出てくる、千差万別、剪定名人乱立の様相です。ただ概ね時期については「柿」と「梅」は12月から1月、「蜜柑」「花桃」は2月末から3月初めでした。しかし剪定方法は千差万別。その木の経過や歴史を辿らないと教科書道理にはならないことは確かなようです。